

# 桃太郎の今と昔～時代背景を考える～

## The Present and Past of Momotaro — Examining the Historical Background

### Abstract

The aim of our research is to explore the origin, historical records and present variations of ‘Momotaro’, a well-known folk tale in Japan. The more closely we examined the material for this research, the more surprising facts we encountered. First, the characters and items that appear in it have some profound implications. Second, at one time, at the mercy of political trends it was distorted. Third, it has been passed down differently from region to region.

### 1. はじめに

私たちは日本の昔話の発祥や変遷について興味を持った。そこで、誰もが知っている桃太郎に注目し、時代や地域によつての違い、桃と家来の意味などを詳しく調べることにした。

### 2. 研究目的と方法

関敬吾編『日本昔話大成』より、各地に伝わる桃太郎の話について調べた。また、桃・家来・国定教科書への掲載に関して参考文献やインターネットを使って調べ、考察した。

### 3. 研究結果

- ①地域ごとに伝わり方が異なり、おばあさんが桃を食べて若返り桃太郎を出産する回春型と、桃から桃太郎が生まれてくる果生型とがある。
- ②なぜ「桃」なのか調べたところ、桃の字の原義は「妊娠の兆しを示す果実のなる木」であった。また、実の小さい江戸時代までと実が大きくなった明治時代以降の品種の違いが、回春型と果生型とが混在する理由と推測する。
- ③干支の鬼門の方位に対抗する動物が選ばれていることに加え、「きび（己未）団子」に「未」の文字が見られる。
- ④軍国主義の象徴として小学校の教科書にも掲載されていたが、戦争の象徴としての桃太郎は子どもの教育に悪いということで、戦後は教科書から消えた。

### 4. 考察・結論

地域性については、伝わり方に年代差があつて比較できなかった。しかし、明治以前と以後に回春型から果生型に変化してきたように、時代によつて話の内容が違ってくるのは、その時代の考えや思想が反映されたものと考えられる。

### 5. 参考文献

- 『日本昔話大成』 関敬吾編      『「大きなかぶ」はなぜ抜けた？』 小長谷有紀編  
『桃太郎の謎』 山口勝久      『桃』 有岡利幸  
『桃太郎はニートだった！日本昔話は人生の大ヒント』 石井正己